

8月は「人権尊重をめざす県民強化月間」です

人権が尊重される社会をめざして

人権とは、誰もが生まれながらに持っている自分らしく幸せに生きる権利のことです。しかし、私たちの周りには「偏見」や「いじめ」、「差別」といった人権にかかわるさまざまな問題があります。人権について家族、友人などで話し合ってみましょう。

女性の人権

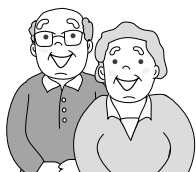
「男は仕事、女は家事」や「育児や介護は女の仕事」、あるいは「女らしさ」の強要、女性に対する暴力など、私たちの社会や日常生活の中にはまだまだ根深く残っています。この背景には固定的な性別役割分担意識などの考え方が、いまだに払拭されていない現状があります。

子どもの人権

虐待やいじめからの保護はもちろんのこと、教育を受けること、子どもらしく遊ぶこと、自分の意見を述べることなど、健やかに育つ権利があります。

高齢者の人権

長い道のりを歩んできた人生の先輩です。生活に役立ついろいろな知恵を持っています。昔のことや、豊かな経験をとおした話もしてくれそうです。「高齢者だから」というだけで邪魔者扱いしていませんか。年齢に関係なく、お互いの考え方や生活習慣を理解しながら、ともに歩んでいく気持ちを持つことが大切です。



障害者の人権

社会には、障害のあるかたにとっては、多くの壁（バリア）



同和問題

ア)が、まだまだ存在しています。私たちは、社会のバリアだけでなく、心のバリアもなくし、障害のあるかたが安心して暮らせる地域社会をつくる必要があります。

同和問題とは、わが国の歴史的発展の過程で形づくられた身分階層構造に基づく差別により、日本国民の一部の人たちが本人の責任とは何の関係もなしに差別される、まさに生きる権利が踏みじられる問題です。

同和問題の解決は国民的課題です。同和問題に対する正しい理解と認識を深め「差別をしない・させない・許さない」

い」心を持ちましょう。

インターネットによる人権侵害

その匿名性、情報発信の容易さを悪用した人権問題が多数発しています。個人の名誉に對する理解を深めることが必要です。

そのほかの人権問題

外国籍のかた・HIV感染者・ハンセン病患者のかたなどへの差別のほか、宗教・職業・考え方や出身などで差別問題が起ることがあります。また、犯罪被害に遭ったかたとその家族・加害者とその家族などに対するプライバシーの侵害や中傷などの人権問題があります。



えせ同和行為の排除のために

えせ同和行為とは、「同和問題は怖い問題」というような誤った意識につけこみ、同和問題を口実にして不当な要求や不法な行為などをすることをいいます。例えば、同和問題の解決を装って、企業などに高額な図書を購入や不当な寄付金・賛助金を強要することです。このような行為は、同和問題に対する誤った意識を植え付け、啓発活動の効果を一挙に覆すものです。同和問題解決への大きな阻害要因となっている「えせ同和行為」に対しては、私たち一人ひとりが毅然とした態度で臨むことが重要です。

イベント

人権啓発フェスティバル「ヒューマンフェスタ2010さいたま」

日時：8月26日(木) 10時～

場所：大宮ソニックシティ

入場無料(申し込み不要)

内容：

- 10時～ 国際会議室 人権啓発資料展示
- 人権相談コーナー
- 各人権課題ブース ほか
- 11時～ 小ホール 講演会 松野 明美氏(三元マラソンランナー)
- ピアノ演奏
- キャラクターショー
- 13時～ 大ホール 人権作文表彰・発表
- 人権講演会 小錦 八十吉氏(三元大関)
- 木村 弓 ハートフルコンサート
- キャラクターショー

▼問い合わせ 総務課
TEL 255811110(内線2565)
FAX 25711110